



《現状把握》

- ・国語Aは0.2%、国語Bは2.5%と全国平均を上回っている。
- ・算数Aは全国平均と同じ、算数Bは1.2%と全国平均を上回っている。
- ・国語への関心は全国平均を下回っている。算数への関心はわずかだが上回った。
- ・学習週間がわずかに全国平均を下回っているが、宿題以外の予習、復習の学習時間の差である。予習に関しては4%、復習に関しては、13.2%下回った。

《授業改善のポイント》

- ・国語については、引き続き、授業の中や家庭学習などを通じて、読解力を高める工夫をしていく。さらに「学び合い」の中で、「聞く・話す・書く」の指導の工夫を行い、豊かな表現力に結びつくような表現活動の機会を様々な場面で取り入れていく。
- ・算数については、「東京ベーシックドリル」を活用しながら基礎・基本の徹底を図る。さらにしっかりと教師や友達の発言を聞き、その上で疑問点は質問し、解決することで知識の定着を図る。習熟度指導を効果的に行うとともに、発展的な学習の充実を図り、多様な考え方を引き出せるようにしていく。

《チャートの特徴》

- ・全国平均を1とした正多角形とほぼ同じ正多角形を描いている。
- ・ほぼ全国平均と同じ結果となった。
- ・生活習慣、自尊感情は、全国平均をわずかに上回った。
- ・言語活動、学習週間、規範意識はわずかに全国平均を下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・東京ベーシックドリルを活用した家庭学習の工夫をする。さらに、予習、復習にも目が向けられるように働きかけていく。
- ・規範意識の確立に向けて、家庭、地域と連携して取り組んでいくよう働きかける。